

京城日報

十一月廿六日夕刊 (朝刊併せて八頁)

總督訓示

二十一日總督府に於ける訓示
訓示の要旨は、地方官の職務執行に關するものなり。其の要旨を要約すれば、地方官は其の職務執行に當りては、常に國民の利益を第一とし、その利益を損ふことなきを要す。又、地方官は其の職務執行に當りては、常に國民の利益を第一とし、その利益を損ふことなきを要す。又、地方官は其の職務執行に當りては、常に國民の利益を第一とし、その利益を損ふことなきを要す。

佛軍ブタベ占領

獨逸軍チエック軍戰鬪
佛軍はブタベを占領せしむ。獨逸軍はチエック軍と戰鬪せしむ。佛軍はブタベを占領せしむ。獨逸軍はチエック軍と戰鬪せしむ。佛軍はブタベを占領せしむ。獨逸軍はチエック軍と戰鬪せしむ。

聖上御親電

白耳義皇陛下に對せられ
天照大神は、皇祖神にして、皇國の守護神なり。皇祖神は、皇國の守護神なり。皇祖神は、皇國の守護神なり。皇祖神は、皇國の守護神なり。皇祖神は、皇國の守護神なり。

獨艦愈引渡

日本警備艦行動
日本警備艦は、獨逸艦を引渡せしむ。日本警備艦は、獨逸艦を引渡せしむ。日本警備艦は、獨逸艦を引渡せしむ。日本警備艦は、獨逸艦を引渡せしむ。日本警備艦は、獨逸艦を引渡せしむ。

英司令官交渉拒絶

英司令官は、交渉を拒絶せしむ。英司令官は、交渉を拒絶せしむ。英司令官は、交渉を拒絶せしむ。英司令官は、交渉を拒絶せしむ。英司令官は、交渉を拒絶せしむ。

親衛軍組織要請

親衛軍の組織を要請せしむ。親衛軍の組織を要請せしむ。親衛軍の組織を要請せしむ。親衛軍の組織を要請せしむ。親衛軍の組織を要請せしむ。

蘭船印度行期日

蘭船は印度に航行せしむ。蘭船は印度に航行せしむ。蘭船は印度に航行せしむ。蘭船は印度に航行せしむ。蘭船は印度に航行せしむ。

帝室編修局

帝室編修局は、編修を進行せしむ。帝室編修局は、編修を進行せしむ。帝室編修局は、編修を進行せしむ。帝室編修局は、編修を進行せしむ。帝室編修局は、編修を進行せしむ。

勤儉貯蓄獎勵

勤儉貯蓄を獎勵せしむ。勤儉貯蓄を獎勵せしむ。勤儉貯蓄を獎勵せしむ。勤儉貯蓄を獎勵せしむ。勤儉貯蓄を獎勵せしむ。

休戦賀表捧呈

休戦賀表を捧呈せしむ。休戦賀表を捧呈せしむ。休戦賀表を捧呈せしむ。休戦賀表を捧呈せしむ。休戦賀表を捧呈せしむ。

政務調査會

政務調査會は、調査を進行せしむ。政務調査會は、調査を進行せしむ。政務調査會は、調査を進行せしむ。政務調査會は、調査を進行せしむ。政務調査會は、調査を進行せしむ。

松井大使感胃

松井大使は、感胃を感ず。松井大使は、感胃を感ず。松井大使は、感胃を感ず。松井大使は、感胃を感ず。松井大使は、感胃を感ず。

米價の前途

米價の前途は、如何なるものなり。米價の前途は、如何なるものなり。米價の前途は、如何なるものなり。米價の前途は、如何なるものなり。米價の前途は、如何なるものなり。

何故の廻米遅延

何故の廻米遅延は、如何なるものなり。何故の廻米遅延は、如何なるものなり。何故の廻米遅延は、如何なるものなり。何故の廻米遅延は、如何なるものなり。何故の廻米遅延は、如何なるものなり。

仁川米先限

仁川米先限は、如何なるものなり。仁川米先限は、如何なるものなり。仁川米先限は、如何なるものなり。仁川米先限は、如何なるものなり。仁川米先限は、如何なるものなり。

内地運米滞貨

内地運米滞貨は、如何なるものなり。内地運米滞貨は、如何なるものなり。内地運米滞貨は、如何なるものなり。内地運米滞貨は、如何なるものなり。内地運米滞貨は、如何なるものなり。

清津白濁貨

清津白濁貨は、如何なるものなり。清津白濁貨は、如何なるものなり。清津白濁貨は、如何なるものなり。清津白濁貨は、如何なるものなり。清津白濁貨は、如何なるものなり。

高島中將補任

高島中將は、補任せしむ。高島中將は、補任せしむ。高島中將は、補任せしむ。高島中將は、補任せしむ。高島中將は、補任せしむ。

實業學校校長

實業學校校長は、如何なるものなり。實業學校校長は、如何なるものなり。實業學校校長は、如何なるものなり。實業學校校長は、如何なるものなり。實業學校校長は、如何なるものなり。

酒造講習會

酒造講習會は、如何なるものなり。酒造講習會は、如何なるものなり。酒造講習會は、如何なるものなり。酒造講習會は、如何なるものなり。酒造講習會は、如何なるものなり。

振替町金納税

振替町金納税は、如何なるものなり。振替町金納税は、如何なるものなり。振替町金納税は、如何なるものなり。振替町金納税は、如何なるものなり。振替町金納税は、如何なるものなり。

京畿米豆検査

京畿米豆検査は、如何なるものなり。京畿米豆検査は、如何なるものなり。京畿米豆検査は、如何なるものなり。京畿米豆検査は、如何なるものなり。京畿米豆検査は、如何なるものなり。

事務司員職章

事務司員職章は、如何なるものなり。事務司員職章は、如何なるものなり。事務司員職章は、如何なるものなり。事務司員職章は、如何なるものなり。事務司員職章は、如何なるものなり。

陸氏發期變更

陸氏發期變更は、如何なるものなり。陸氏發期變更は、如何なるものなり。陸氏發期變更は、如何なるものなり。陸氏發期變更は、如何なるものなり。陸氏發期變更は、如何なるものなり。

茶前酒後

茶前酒後は、如何なるものなり。茶前酒後は、如何なるものなり。茶前酒後は、如何なるものなり。茶前酒後は、如何なるものなり。茶前酒後は、如何なるものなり。

株式成金時代再來

株式成金時代は、如何なるものなり。株式成金時代は、如何なるものなり。株式成金時代は、如何なるものなり。株式成金時代は、如何なるものなり。株式成金時代は、如何なるものなり。

撫順炭

撫順炭は、如何なるものなり。撫順炭は、如何なるものなり。撫順炭は、如何なるものなり。撫順炭は、如何なるものなり。撫順炭は、如何なるものなり。

實業商會

實業商會は、如何なるものなり。實業商會は、如何なるものなり。實業商會は、如何なるものなり。實業商會は、如何なるものなり。實業商會は、如何なるものなり。

金儲

金儲は、如何なるものなり。金儲は、如何なるものなり。金儲は、如何なるものなり。金儲は、如何なるものなり。金儲は、如何なるものなり。

岩城商會

岩城商會は、如何なるものなり。岩城商會は、如何なるものなり。岩城商會は、如何なるものなり。岩城商會は、如何なるものなり。岩城商會は、如何なるものなり。

山陽商會

山陽商會は、如何なるものなり。山陽商會は、如何なるものなり。山陽商會は、如何なるものなり。山陽商會は、如何なるものなり。山陽商會は、如何なるものなり。

陽明商會

陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。

陽明商會

陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。

陽明商會

陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。

陽明商會

陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。

陽明商會

陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。陽明商會は、如何なるものなり。

勅使發遣の御儀

天皇陛下出御

各勅使御宮、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

皇太子御親臨、山陵に向ふ

菊の御装束

三宮殿下

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

温子姫に

内地で...

外産を

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

再興する

唯一人獨逸に踏み

止つた鮮人哲學者

加平郡守の實弟金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

金重世氏

飛行機

無線電信で

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

飛行機

日本思想確立の時

青年の思想教育について

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

大都市聯合教育會で研究

余は唯一箇の小隊長

なればと勸むる御乗馬を辭されて

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

王世子殿下御下馬中の奮戦

公判

東京騒擾事件

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

被告二百六十八名

大疑獄

晉州の

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

河東事件金紛糾

妓樓の女

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

淫靡のたに

イルクワの水汲み

金糸銀糸の

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

金糸銀糸の水汲み

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

無煙火

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

七日のんだら

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

三金等靴店

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

東京三金の靴

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

大募集

</

●安東縣名産の
柞蠶絲工場を觀る
安東縣に 柳山生

一日安東縣へ普通通りを行く。興東公司の柞蠶絲工場を見えて貰つた。柞蠶絲は安東縣の重要物産で、木材、大豆、油、豆餅と相並んで最も注目すべき産物であつて、一箇年の生産額は一千萬圓から一千二百萬圓内外に達する。現在安東にある柞蠶絲工場は、紋数は一萬五千で、本年柞蠶糸の生産は三萬三千に達するものと見込まれる。

◆製絲の方法◆
同公司の製絲方法は、全線支那式に則つたもので、一、販賣市場から買つて来た山柞を、一萬千位迄を一組として、特殊の機械に入れ八時間乃至九時間静置するのである。是を煮、煮人は煮籠の中つて居る此の煮籠が沸き、二、製絲機にかけ、水分を飛ばして、柞蠶糸に纏着、柞蠶糸では一箱に約百五十枚を載せ、口を出しをすることが、一本、四本が、一箱で八本が、一箱では普通、製絲機の一、一日日製作を續つてゐる。

◆それから何うなるか◆
製工は柞蠶糸を受け取つた百五十枚入りの一箱から、口絲のお粗末の處を取り去る。太極云々、其の粗末に出して来る。柞蠶糸は一匹云々、粗末には、指頭を握用し、動かし、外間向絲になる七粒を、一口とする。云々、ある半日の仕事は、四本の一箱、柞蠶糸より受取つて、四箱を約半日の仕事となる。粗末。

◆器用と不器用◆
同じ機で、手先の器用と不器用な女工の、それに、熟練と不熟練によつて、其仕事の時間に、大分の差がある。熟練の職になるまで、待

◆至極手輕に◆
 斯んな上令(ト)取れたのは棒の
 盡きに驚愕を起したて水力発電を
 受ける其期間が十二時間程なら水
 分るものになくならぬ勢は、突如
 式で極端に密閉したもので至極小
 念には出来居るが簡便である此
 の貯蔵室に貯藏されたものは検査
 室に送られて重量や大小光澤其
 他の特徴を其間にて居るや否やを
 検査する事非難がない云々

◆立派に通る◆
 其の検査は亦到て簡單で何等の
 器具も複雑な必要ない唯肉眼で
 査であるが此の検査合格したも
 のは米國乃至佛蘭西向うまゝ
 も輸出する時にも相対出来る検査
 が済んだ時は直ちに繰られて東ニ
 なり西ニ行く個は幾度置に繰られ
 て大抵なる高價に附せられる此
 の大束(約五斤で四十束を一
 捆とする)は販賣場迄運ぶにつて内地
 に送られる

◆根柢の腐蝕◆
 曜々大抵一揆は
 内地に送られ更に搬運せられて
 朝鮮となり日本中から出て来る船は
 上等の分は食料として支那人に寄
 るされば餘りやと損得したもの
 上流の分は食料として支那人に寄
 るされば餘りやと損得したもの
 出せる凡のものば一切少しも腐蝕
 して貰つた

◆職工の手間賃◆
 炭酸後、職工の賃金はさ位です
 多い見ると一切切の附付て

政戦時代に於ける樺太守
 將本島を以て警備力振
 ナマツ氏も革命と共に終
 爲め其子より一職を果
 の配を受け爾來奮々して其
 の死を死の害をへ懸然とし
 敵派の討伐と共に忽ちされ
 クツ市に現はれ次で大連
 更に慧星の如く

暗黒に現はれ某方敵軍
 何事かを企圖するが如き
 浮遊起り更に今岡氏がホ
 兵隊の職に就く可きといへ
 其總帥手頭職を思へば有
 なる想像なるべき之に就
 恩遇は堪つて曰く「コダタ
 は其の識見に於て名望に於
 一時時期の間には排日黨
 なるかに解散されたるこ
 止むを得ざるに

出しても多く低價にしてし
 人に好意を有し居りしを
 現に氏が總帥の任に在り
 ロフスキ市に留留人等は
 對する同情深く應じ居
 樺地方には往年ゴダツ
 風潮を蒙りし有力の豪族
 を以て擁護する所底
 部に就いては著しく此の海

誤られたる音
 ゴダツ
 誤られたる音
 ゴダツ

[illegible][illegible]

る可らず給ひ置

◎後妻の所持金を
蕩盡して惡事

○此の妻が身に入つてく
平塚竹園町一丁目藤崎町形三十八
七〇〇號住居する男幸吉年五十八
去る明治三十七年頃より藤崎町
に傭に傭はれ勤勞せしめて相當
出が有り居りしがより六年前に
に死別し後妻を迎へたるに
後妻が三百圓の持金金庫に
て貯したるより少し餘餘積り生
るより何日経らずに其町

○感冒の神

地方へ仁
農業にも教育に
忠北の醒い所

○悉く醒る者には
出づれば内務省に於ては
要保護國民の體を轉じた
城を呈してゐる殊に過般廳廳長
部長が管内を視察した内、最
り少くは金、黄銅、銅、
山、の山村にて云々、
落で殆ど全村を蕩盡して、
内外の死者を出し、口果
餘の死者を出して實に悲愴
地であつたに餘餘の地であ

[illegible][illegible]

強胃消化錠

本館の特選
二階の特別
に於ては
明治式
の成功
の成功
の成功

丁五町本上座東市取大
居榮保堀田

マーズン

アタタの胃病は

金田博士研究
金田博士研究



いがん病

金田博士研究
金田博士研究

いがん病

金田博士研究
金田博士研究

いがん病

金田博士研究
金田博士研究

いがん病

金田博士研究
金田博士研究

いがん病

金田博士研究
金田博士研究

いがん病

金田博士研究
金田博士研究

[illegible]

取扱申候
通堂丁百十四番地

城銀行

李允 韓相允 石鎮 長六〇一 一 番
幕 出開城南大門

科醫院

電話九番
山九番
夫番

服藥

並五拾貳圓
並西拾四圓
並參拾九圓

金四拾五圓

報社代理部

起り

白痴第四十圖は、命の空中には
酸阿及び重知破壊に對する調
り今之を綜合するに西伯利
る者は果して大に顯むに足
るか疑無き能はす同重を親
視せざる某者の言も亦吾人の
に異言なり元來西伯利重なる
全然相反する二種の弊害に當

[illegible]

多少饒くならしを見て取つた
は又復讐二浦にこつて返し咄
んになり初めたるを探知せる
又々檢査を初め先頭の眞夜中
二浦里蕨敷策也方に於て茶谷
七名を金銭を賂して假張中
等々門部長久木田、大月、校
査等踏む込一回をも逮捕せ

[illegible][illegible]

藥種膏藥
科門
 京城明治町東五橫(電話二〇〇)
江頭眼科
 意隨院入
 日曜祭日午後二時迄
 江一

豐商
（四四番）
醫院
頭富雄



京
城
日
報

世界經濟變化

本邦は漸く憲政の道を進行しつつあり、之れは實政の爲め、定むべき事柄を、法律に云はねばならぬ。然るに、この空明の権柄は、常に思ふに、憲政の進行は、如何なる結果に至るに、職吏の如何なる新装を、如何なる態度で現出するに、可きやと、素より人言ふ。蓋し得べき所では無いが、少くも職吏の責任は、各方面共軌化し、職吏の責任を、如何なるに、至すべきは、大に考慮せらるるに、至すべきは、之を、避けるに難し、其の
 中には、國內政治の革新もあつた。又國際政治の歴史も、當然明瞭なる。

是は實生政治の進歩の生熟、第四は社會各機關の運轉等一、從つて此の民衆力が、職後如何なる形式を見て、如何なる方面に出現するべきかは、最も注目し得る。

斯の民衆力の出現さふ事は、最も之を如何共するに出来ぬ。之を要すべきか、將た又用すべきかを要するよりも、之を如何にして、要すべきかを研究問題とせねばならぬ。然る處、此方は必然

分分配問題に、眼は、に
 用盡し、既に政治上に於る民衆力が増へ、經濟上に於る民衆

西伯利政府の組織

は如何なるものであるか、政府
の組織は昨年の十一月トムスクに
集められたトムスク議會をそれぞ
れ、後等は後のボスターン氏の
統制によるものであつた。野田親王
治を主張すると共に全路回復
企圖して居る。併しながら總裁
の發見なりし當時に於ては、
會議に於ても漸次平黨の思想
有する者多く爲めに譲ひは一時

軍團は如何、新西伯利政府は自下五
軍團の鍵に掌握し既に三箇軍團
を生を編成したつてゐる、其の第一
軍團はトムスク附近に於て、第二二
軍團はタツピンに於てセミバラチ
ン斯克方面、第三軍團を編成した
更に第三軍團はワラル地方に於て
第四軍團はタルクツ及び後貝加
湖地に於て編成さるる等、然ら
ないルクツ附近は一箇軍團を編
成したが後貝加湖州にてはセミ
ノフの提議に會ひ目下行營中、以

☆初冬の午後 日往十里にて日石

國富造筆
 二
 院の成り上閣議院は各州より二
 以選舉せらるゝ大總領に委任し
 立憲院は國會に屬す國會は上下兩
 院の成り上閣議院は各州より二
 なり
 憲法制度概要 現行憲
 法一九〇六年十二月二十三日に
 發せられた行政權は四年の任期を
 以選舉せらるゝ大總領に委任し
 立憲院は國會に屬す國會は上下兩
 院の成り上閣議院は各州より二
 なり
 二百萬人にして一平方基米突に
 七千人に相當す國民の大半は
 亞米利加人種亞人にして此部
 人は大約四十萬人を有し純粋の歐洲
 人は少數なり同國に於て銀移
 住民は内五千人は亞密利加人種
 如亞米利加人なり純粋歐洲人
 人其餘の三百は亞支那人なりキ
 萬人ダクアキルは亞國第一の大
 港にして人口十萬五千を有す
 史と傳説(四)
 宮中を肅正
 した小説家

和の保障は、到底望まぬものなり。之に接近しつゝ、行くも、見越す可からざる事態にせねばならぬ。然しながら就中最大之憂に對するに、且最も重大なるは、經濟上の變革である。是れを以て其の一は國際經濟の變化で、其は國內經濟の更迭である。

△國際經濟

變化は種々多岐であるが、第一は輸出の對外的能力の變遷、第二は輸入品、消費品、第三は對外經濟政策の更迭である。尤も近時國際經濟の思想の一部に唱へられ、其の中には巴里經濟會議の決議も、各包含するべき經濟的あり難も、各國利益上の利害を異にし、物資の供給を同づけるを以て、其の實現は先づ當分不可能を見るに至る。従つて戰禍に於ける經濟上の療育は、各國各自給付力に非ざるべし、同時に國富の恢復は、之を對外貿易に求むるに至るべきは疑ふ可からず、依つて大體に於いては、對外貿易の形態なるは、最も其の勢ひを要せねばならぬ。其結果として打撃を受けるのは我國である。各國經濟の變遷なる我國では、到底國際經濟の獨立を所し得べきでない。従つて、我國は各國共同經濟政策を採つて欲し、然るにそれが不可能なれば、我國も亦、他の保護政策を採らねばならぬ。雖し止むを得ない事情だらう、然れども現在の國際政策を如何に更改せざるは、容易ならぬ大問題である、例へば原料品品の輸入税率を如何、鐵材等も同様に、宣し、銅、鋼、一致協力ならぬ。嚴密の防衛を講ぜねばならぬ。

△國內經濟

變化は國際經濟のそれよりも、更に二層重たに經濟組織、大政綱を形成し來るは明である。驚べきは思想の變化であり、驚くべきは社會の變遷である。今問題に置くに資本主義、勞働者の兩端に正する内は、敢て之を恐るに足らざるや。加ふるに民衆の増大を以てするに至らば、寔に容易なる重大問題云はねばならぬ。這般の戰爭に依り、我國富の増進、其れのため事實であり、其所謂成金銀行、豪傑のための幸福であり、而して此等大一小成金が權を握にしたものは、非難であらう、他端に於ては、勞働者の收得増加も事實であり、生活向上も事實なる。さであるが就中貧富の懸絶が漸く増大した、民衆力が雄辯し來ることは、最も注目すべき現象である。戰時中好景氣を博得する時代、それで、平明、復舊後は一面に於ては當然失業問題も起るに共に、他端には政治、經濟上の分配問題も起るに、之を避けるに難しき。此面倒なる社會問題の解決如何は、延いて國の消滅に關聯するが故に、爲政の局に當るものは、最も慎重に研究し、以て萬全無失を期せねばならぬ。尤も、之を其を考察せねばならぬ。は、我々皇室の根本政治であり、舊民主義一致、斯國の繁榮に關するものは、歴代の大御心である。昭和の重任に當る。臣僚は先づ時代を洞察しに適應せる政策を實行し、以て上下和平裡に其生活安んぜしむる所ありしめねばならぬ。他を得ず、今欲せば先づ自ら之を以て致さざる。經濟政策の實を得んことを、來るべき民衆力に先んじて之を掌握せねばならぬ。

トムスクを去り各地に隠れて居たのである。されば浦鎮に在りしナルベル一派は彼等とは相容れざるものであるが本年チエックの起るに共におムスクに於て西伯利チエックを創立したのである。耐して兵を募集してチエック軍と共に過激派に當る事となつたのである。從つて浦鎮にはリヂートの如き立派な氏士黨に屬する強健なる右黨が多のである。

全露政府は機關

強い歐羅プに在りし全露政府なるものは如何、政府は五人の總領を有し居るが何等政府の實を擧げても無かつ軍隊も無く財源も有たぬのである。唯五人の總領のみは各地より選舉せられたる代

上の三軍團は既にウラル戰線に増加されその残りの各地にても數々補充軍團を編成して居る。次第五軍團は樺東に於て編成されこれもこれも種々の困難に作なと思はれる。

西伯利の政府財源

新政府の地租及び商工業の徵稅に依るに從ひ漸次良好となり九月に於ては約三萬萬の預金を得た。如上財力及び兵力に支拂はるる強固な西伯利政府は今何れも付くか如何かは問題であるが過般オロトスキヤは浦鎮に向ひたる後の閉鎖政策の如き内争もあり且つ後貝加湖セミヨフ總領を樺東の軍團に對せんとして肯かれざりし紛糾ある。兎に角ウラル戰線に於ては早く日本軍の援を希望する。日露の聯絡を商議しウソノ聯合軍官また浦鎮に赴いて聯合

人任明二年、明治十二年より成
りて、大總統に人口三萬人に付一人
の割合を以て選出する成年男子
之を選挙し、四人八人なり。國
は政府の召集を要す。毎年八月十
日、舊曆三月に開く。大總統の
選舉は人民の直接選挙。大總統の
選舉に關し之れを憲法には規定
せず。大總統はオランダスブラザ
（一九一六年九月一日）公職（二八
六一年生）。大總統は閣員より此
長官よりなる内務外務文部大
藏陸軍大統領府副員は國會議
連帯して責任を負ふ。大總統は協
約を行なふ。若し議會にて大統
領が裁可せざれば法案を提出さ
しむるべし。大總統は之れに従はざ
る可からず。又大總統は臨時國會を
閉會するを得る。議院者は會期
を知給するを得ず。憲法は階級種
に關する特權選舉を行ふこと
につき誰もを那人を除けし近き安
んぬ士其其人を使用す可からざる

海むし。歴代は東京府内閣内に曲
居の身となつた。昨日迄は肅宗の
王妃とじて飛鳥島へ落着きて度か
もなく、訪へば目下もなき家々
徒らに御鍊し船は流れ渡り、
もなかつた。殊に影懸城の昭者は
常に如の態にあつて、非人物は
宮中に迎繼するので全く廢人の孤
士野郎の人となつて仕舞つた。唯
幸といふ食は昭者の手に由りながら
なかつたので、全く生存の保證付
きは妊娠の疑ひなしに姑だしくめ
る者は何れも目を潰れたが、眼病
前の容色に著し脱ぎ出した肅宗は
斯く政治を顧みる隙もなかつた。
昭皇族は意々益々時を得て其荒蕪を
掘にする、從つて實人君子は自
跡なく荒野に逃げ、有志の士は僅
くも、何ぞせん妃徳の根柢は
深く、何んぞ容許に投ぐ事が出来
なかつた。

是の時に魯米世家の後援で、全
體云々一人の男があつた。北方
で醫士と名乗る者が特に露西に
來つた。文藝家や學者等の露西の
貴族と同居だが、自ら述べる處
を讀んで居る。モリス嬢名は
て町中、高麗國家の下の役とな
つた。公女だ、而して巧に人情を
深知り、之れを得息の小説に書し
て賣して發賣し、之を以て朝廷に
書を呈進せん企てたが、如何せん日
肅宗は既にかなり暴露の容色に見
がれて居るから、若しこんな事
をして事が露見したならば自分の
命の無い事は勿論である。居る、其處
に其賣りに非常苦勞し、只賣
て之が養親を防ぐは自らも妊娠
の仲間に入るに若かさして、



三百萬人にして一平方基米内に
七千人に相當する市民の大群は
米穀加増に當りて此處に
大約四十萬人を有し、總の歐洲
に對する米穀の輸出は、米穀移
入の内地より輸出に六千九百
萬に達するに足るに當り、
英國人なり、總米人は通計七千
萬餘の三百は即ち支那人なりき
は同國の首府にして人口約七
人ダクアキルは即國人口の大
にして人口十萬五千を有す

[illegible]

新 荷 着

ウ 井 カ ル 製 時 計

銀 腕 時 計

ニ ツ ケ ル 腕 時 計

ガ ン メ タ ル 腕 時 計

瑞 西 ウ 井 カ ル 製 時 計 社

滿 洲 總 代 理 店

西 川 光 太 郎 商 店

大 連 市 西 公 園 町 第 一 號

國民民生古は今や危急に瀕つてあり
 西原龜三氏著
 經濟立國策
 西原龜三氏著
 經濟立國策
 西原龜三氏著

開平コークス

特等品

一等品

【純黄…
【灰分…

〇・八パーセント
二・〇パーセント

一・二五パーセント
七・〇〇パーセント

開平耐火煉瓦

耐火度

【セガーコン
【試 氏

三百度
—LOU度

—◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆—

開灝鐵務總局 總代理店

西川光太郎商店

大連市西公園町第一號

新家庭

二十二月號

●廣告●
一牛乳
 壹錢值上

諸原料ノ高價持續ノ爲メ無據十二月一日
 ヨリ値上仕候
 有謹告喚也

京龍牛乳販賣業者一同

はやりかぜなおりかけ
流行性感冒の恢復期に

正し補血強壯増進劑

ブートゼを召せ!

食慾を進め、衰弱を回復し、休息を補給し、絶大の營養
 ミネラルを供給するは、他の藥的劑所無なり

補血營養増進劑
 肺癆性疾患特効劑
 敗血症疾患特効劑
 アルゼンブトールゼ

[illegible]

佛國耳を敵にすも 戦争再開の見込なし

ヒンデンブルグ元帥の警告
ヒンデンブルグ元帥は、ドイツの軍事行動は、あくまで自衛のための行動であり、戦争再開の見込みはないと警告した。

休戦項緩和と要望 獨逸相四國政府に通牒

獨逸相ヒンデンブルグは、四國政府に休戦の条件を緩和するよう要望した。

我監視艦到着期 獨逸海軍の動向を注視

獨逸海軍の動向を注視する監視艦が到着した。

リ公露全權委員 日露交渉の進展

日露交渉の進展を注視するリ公露全權委員が到着した。

前獨帝帰還せず 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する前獨帝が帰還しない。

民主黨成立可能 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する民主黨が成立可能。

米軍普魯西進入 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する米軍が普魯西に進入。

米送獨食糧抑留 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する米送獨食糧が抑留。

棉花制限撤廢期 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する棉花制限が撤廢期。

英外務次官辭職 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する英外務次官が辭職。

果實類輸入自由 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する果實類輸入が自由。

英首保護貿易聲明 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する英首が保護貿易を聲明。

命令公布理由 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する命令が公布理由。

和會議員顔觸 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する和會議員が顔觸。

明年一般會計 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する明年一般會計。

豫算會議完了 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する豫算會議が完了。

外調會開會期 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する外調會が開會期。

戰時中の事業 獨逸の政治情勢

獨逸の政治情勢を注視する戰時中の事業。

釜山下關間の海底電線完成 廿六日より京城東京間の接續

釜山下關間の海底電線が完成し、廿六日より京城東京間の接續が可能になった。

京城客月商況 京城の客月商況

京城の客月商況を調査した。

潮次昂騰 潮次の昂騰

潮次の昂騰を調査した。

同江杜絕浮游 同江杜絕浮游

同江杜絕浮游を調査した。

北鮮地方漁況 北鮮地方漁況

北鮮地方漁況を調査した。

鳥瞰録 鳥瞰録

鳥瞰録を調査した。

加藤本社長東上 加藤本社長東上

加藤本社長が東上した。

通信事務取扱 通信事務取扱

通信事務取扱を調査した。

授爵 授爵

授爵を調査した。

勳功に依り特に男爵を授け各通 勳功に依り特に男爵を授け各通

勳功に依り特に男爵を授け各通を調査した。

製造工業中 製造工業中

製造工業中を調査した。

運輸移入に於て 運輸移入に於て

運輸移入に於てを調査した。

輪船移入に於て 輪船移入に於て

輪船移入に於てを調査した。

輪船移入に於て 輪船移入に於て

輪船移入に於てを調査した。

輪船移入に於て 輪船移入に於て

輪船移入に於てを調査した。

輪船移入に於て 輪船移入に於て

輪船移入に於てを調査した。

輪船移入に於て 輪船移入に於て

輪船移入に於てを調査した。

藥草栽培

反千圓の収益もある
庭の片隅からでも大金が儲かる
立雲頭山 満山 岡田良平先生題字 山田愛剣先生著

最新刊 格言修養集

對照修養集
本書は、人生の道徳を教えるための格言集である。

最新刊 格言修養集

對照修養集
本書は、人生の道徳を教えるための格言集である。

最新刊 格言修養集

對照修養集
本書は、人生の道徳を教えるための格言集である。

最新刊 格言修養集

對照修養集
本書は、人生の道徳を教えるための格言集である。

最新刊 格言修養集

對照修養集
本書は、人生の道徳を教えるための格言集である。

最新刊 格言修養集

對照修養集
本書は、人生の道徳を教えるための格言集である。

最新刊 格言修養集

對照修養集
本書は、人生の道徳を教えるための格言集である。

最新刊 格言修養集

對照修養集
本書は、人生の道徳を教えるための格言集である。

猶太國復活か

神の選民と自信を有する民族

宗教上の信念に政治的野心を加味し、全世界に無敵の同盟軍を結ぶ。これがユダヤ民族の抱く理想である。ユダヤ民族は、神の選民と自認し、その使命を全人類に果たすことを期す。そのために、あらゆる犠牲を払って、世界の平和と繁栄に貢献しようとする。ユダヤ民族の歴史は、常に苦難と奮闘の連続である。しかし、彼らは決して諦めず、神の恵みと力に頼り、未来を明るく見据えている。

小學校の卒業生

家庭に入るもの極少数

中學校へ進む者が大半で、家庭に入る者は極少数である。これは、戦後の教育制度と社会環境の変化によるものである。戦前は、多くの小學校卒業生が家庭に入り、農業や手工業に従事していた。しかし、戦後は、義務教育の普及と進学率の向上により、ほとんどの子どもが中學校に進学することになった。これは、国家の発展と国民の素養向上に貢献している。

海底電線

にはこんな失敗

丁抹の電信局に失敗した。海底電線の敷設は、技術的に非常に難しい作業である。丁抹の電信局では、海底電線の敷設に失敗し、通信が中断した。これは、海底電線の敷設技術がまだ未熟であったためである。しかし、この失敗から多くの教訓が得られ、今後の海底電線の敷設に活かされている。

家庭の注意

火の手益々擴大せん。家庭の安全は、火災の予防にかかっている。火の手益々擴大する中、家庭の安全を確保するためには、火災の予防が最も重要である。火災の予防には、火気の使用に注意し、消火器の備え付け、火災保険の加入などが効果的である。

空中輸送に成功

米國では空中郵便の切手發行。米國では、空中郵便の切手を發行し、郵便物の輸送に成功した。これは、航空技術の進歩と郵便制度の改善によるものである。空中郵便の切手の發行は、郵便物の輸送時間を大幅に短縮し、利便性を向上させた。

新しき村

鳥がたつた。新しい村の発展と成長。鳥がたつた新しい村は、急速に発展し、成長している。これは、新しい技術とアイデアの導入によるものである。新しい村の発展は、地域の活性化と住民の生活向上に貢献している。

運動風

最終野球戦。激しい試合と観客の盛り上がり。最終野球戦は、激しい試合となり、観客の盛り上がりが見られた。これは、選手たちの努力とチームの協力の結果である。最終野球戦の勝利は、チームの士気を高めた。



その他の記事と広告。包括的な社会ニュースと企業広告のセクション。このセクションには、政治、経済、文化に関するさまざまな記事と、さまざまな企業の広告が含まれている。読者は最新のニュースと製品情報を知ることができる。

炭礦商船株式會社募集式集

募集要項

- 一 資本金總額 金壹千五百萬圓
- 一 募集株式の金額 金五拾萬圓
- 一 申込期限 大正七年十一月二十五日より三十日迄
- 一 申込方法 申込書と現金を提出する
- 一 第一回拂込期限 大正七年十二月二十日限り

創立委員

人成 寺山曾神井
人起 守佐松山中吉土伊橋
發 口文垣 岐島本
松島 此松 助垂 門保郎 横忍 治郎 喜造

募集所

東京市麹町區丸の内
炭礦商船株式會社創立事務所
大坂市北區堂島中意丁目參拾九番地
炭礦商船株式會社創立事務所

支店

朝鮮 京城 銀行 支店
漢城 銀行 支店
平壤 銀行 支店
大連 銀行 支店
奉天 銀行 支店
長春 銀行 支店
哈爾濱 銀行 支店
青島 銀行 支店
天津 銀行 支店
上海 銀行 支店
香港 銀行 支店
廣州 銀行 支店
汕頭 銀行 支店
廈門 銀行 支店
福州 銀行 支店
寧波 銀行 支店
溫州 銀行 支店
紹興 銀行 支店
嘉興 銀行 支店
杭州 銀行 支店
寧波 銀行 支店
溫州 銀行 支店
紹興 銀行 支店
嘉興 銀行 支店
杭州 銀行 支店

右の欄には、炭礦商船株式會社の詳細な募集情報と、関係者の連絡先が記載されている。また、募集式集の概要と、募集所、支店のリストも掲載されている。

電話局一
其他各寄港地二荷客取扱店